

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

特別号
— 2022年9月 —

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 市丸 克己
連絡先 045-210-3848
神奈川県青少年課

特別号の発行について

横浜市青少年指導員連絡協議会 山崎 直宏

巷ではコロナの影響が収まるどころか、第7波が猛威を振るっています。つばさの発行にあたって、年何回発行できるか等々、編集委員会でも意見を交わしてきました。

その結果、本年度の通常号についてはカラー版年1回の発行とし、それとは別に、今回新任の方を含む理事のご挨拶をまとめた「特別号」を発行することといたしましたのでご一読いただけますと幸いです。

活動再開に向けて



神奈川県青少年指導員連絡協議会 会長 市丸 克己 (相模原地域)

このたび、第28期神奈川県青少年指導員連絡協議会会長に就任いたしました、相模原市青少年指導員連絡協議会の市丸克己です。前期から引き続きになりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

神奈川県青少年指導員連絡協議会は、今期で発足から55年を迎えます。未だに不透明なコロナ禍にあり、このように活動が困難となる事態が訪れようとは、皆様も思いもよらなかったのではないのでしょうか。

このような状況下においても、工夫を凝らしながら青少年の健全育成への不断の熱意をもって活動されている青少年指導員がいらっしゃるという話を耳にするたびに大変深い感銘を受けている次第です。

さて、第28期においては、各地域における青少年指導員の活動も、再開に向けた検討がなされているのではないかと思います。これまで通りの活動が出来ない、やり方を変えていかななくてはいけない、といった議論もあることでしょう。

地域には、皆様の活動を待ち望んでいる青少年がたくさんいますので、この困難の時期を乗り越え、将来を担う青少年が夢や希望を持って成長できるよう、青少年指導員が一致団結し、活動再開に向けて取組んでいきましょう。

最後に、皆様の御支援、御協力をお願い致しまして、御挨拶といたします。

青少年の夢と希望



副会長 辺見 伸一 (横浜地域)

今期も神奈川県青少年指導員連絡協議会の副会長をお引き受けしました横浜市青少年指導員連絡協議会の辺見と申します。この3年

間はコロナ禍で各地域の青少年指導員の皆様におかれましては活動に大変苦慮されておられることと想われます。

その中でも将来を担う青少年が夢や希望を抱いて成長していけるように少しでもサポートしていく所存です。その為にも青少年指導員の方々のお力添えを頂きたいとお願い申し上げますと同時に皆様の更なる活躍を祈念し挨拶とさせていただきます。

就任にあたって



副会長 岸 眞介 (川崎地域)

県理事会から推薦を受けて、副会長を務めることになりました川崎地域の岸と申します。

川崎地域は7つの行政区からなり、500名強の指導員が活躍しています。感染対策を徹底して創意工夫しながら活動を進めていますが、最近やっと子ども達の高らかな明るい笑い声や「楽しかった」という屈託のない言葉を聞けるようになりました。

ウクライナの戦争、貧困格差の問題、コロナ禍の青少年の心のあり様など関心を持ちながら、足元の地道な活動をすすめていきたいと思っています。

嬭(たお)やかな繋がりを



理事 福本 秀子(横須賀三浦地域)

横三地区の福本です。任期中宜しくお願い致します。

コロナ禍の中、様々な行事が中止となり積み上げて来た伝統や伝承が途絶え、異年齢交流が出来なくなり、今までの日常が奪われ知らぬ間に大人だけで無く子ども達の心をも少しずつ蝕んでいるのではないかと按ずる日々です。

この様な状況の中で私達青少年指導員は力を合わせて、其々の地域の人々が1つになるよう各方面の方々と協力し合い、こんな時だからこそどんなに小さな事柄にも目をくばり青少年の健やかな成長の支えとしての役割をしっかりと担って行きたいと願っています。

子どもたちのたくさんの笑顔に会える日まで



理事 萩原 正恵(県央地域)

県央地域から理事となりました座間市の萩原です。よろしくお願い致します。

今年度こそはと新型コロナウイルス感染症の収束を願いつつスタートしました。第一回県央地域青少年指導員連絡協議会も対面で出来て、久しぶりにお会いする懐かしい会長達の笑顔に心がやすらぎました。当時は、各市町村今年度は活動を行う方向で進めてきていました。ところが第7波が押し寄せ、大和市のナイトウォークラリーが直前で中止を決定しました。携わった指導員の胸中を思うと無念だったと思います。

このような状況の中でも感染対策をしっかりと取り出来る範囲に多くの子どもたちとふれあえるように頑張っていきたいと思っています。

次世代の子どものために



理事 江藤 教淳(湘南地域)

湘南地域の代表として28期理事を務めさせていただいております寒川町の江藤です。

コロナ禍にて思うように活動できない期間が続いておりましたが、本年度は湘南地域(5市3町)においても各地域にて様々な活動を計画し開催しています。

県や湘南地域とも情報を共有しながら、今後とも子どもたちの成長の一助となる活動の場を提供できるよう努めていきたいと思っています。どうぞご協力の程、よろしくお願いいたします。

新しいふれあい方



理事 武井 靖雄(県西地域)

この度、県西地域の代表として理事になりました山北町の武井です。

県西地域の2市8町では新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受ける中、適切な感染対策を行い様々なイベントを行えるよう模索しています。早く収束して子どもたちと安心して交流を深めたいです。

さて、来年度(令和5年)の県青少年指導員大会は県西地域での開催になります。地域一丸となり企画いたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。

機関紙「つばさ」第28期編集委員 5名

(敬称略)

- 山崎 直宏 (横浜地域)
- 渡辺 孝一 (川崎地域)
- 齊藤 一城 (相模原地域)
- 福本 秀子 (横須賀三浦地域)
- 萩原 正恵 (県央地域 / 担当理事)

「つばさ」特別号編集後記

川崎市麻生区青少年指導委員会 会長 渡辺 孝一

つばさ「特別号」をお届けします。コロナ禍の悪影響が続いておりますが、第28期青少年指導員の活動がスタートしました。今期の編集委員会は新任3名を含む5名で、フレッシュでタイムリーな話題を提供することになりました。

「特別号」は、第28期役員者の紹介等を載せてあります。67・68号は「合併号」となり、各地域の話題を多く載せて紹介する予定です。青少年指導員には、この窮地を抜け出す知恵と力が有ります。皆さん共にがんばりましょう!

※「つばさ」は県のホームページからご覧いただけます

